

# 「ガス安全高度化計画2030」の 取組状況について（都市ガス事業者）

2026年3月9日

## 0. 概要

- ガス事業者は、「ガス安全高度化計画2030」で掲げられた、**安全高度化目標の達成に向けた実行計画（アクションプラン）**に基づき各種取り組みを推進している。
- 本報告は、**各段階（製造・供給・消費）の取り組み状況**をとりまとめたもの。

安全高度化目標の達成に向けた実行計画（アクションプラン）			項目数※
1. 製造	設備対策	高経年設備対応	1
2. 供給	他工事事故対策	共通対策、需要家敷地内対策、道路対策	7
	自社工事事故対策	自社工事事故対策	6
	経年管対策	本支管対策、灯外内管対策	8
3. 消費	機器・設備対策	安全型機器・設備の更なる普及拡大 等	7
	周知・啓発	家庭用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発 等	6
	その他	自主保安の取り組み公表促進	1
4. 災害 (共通)	地震対策	設備対策、緊急対策、復旧対策、共通	12
	台風・豪雨対策	台風・豪雨対策	2
	災害・事故対策	災害・事故対策	1
5. 共通	—	保安人材の育成、需要家に対する安全教育・啓発 等	8
			<b>計 59</b>

※安全高度化目標の達成に向けた実行計画の具体的な実施項目の数（都市ガス事業者関連）

# 1. 製造段階のアクションプラン – 設備対策 –

## アクションプラン

### 高経年設備対応

規定に沿った検査を実施することにより引き続き対応を実施

## 主な取り組み状況

- 製造設備の建設・維持管理に関する事項を指針に定め、経年劣化に確実に対応するための点検・検査および設備改修を促進。
  - 指針は、技術進捗や関係法令・引用規格の改正等の最新の知見を取り入れるべく、定期的に改定。
- ⇒ 2024年度は、「製造所保安設備設置指針」、「LNG小規模基地設備指針」の改訂版を発行。

指針	主な改定内容
製造所保安設備設置指針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最新の知見を反映し、電気設備の防爆対象範囲の精緻化に関する事項を追記。</li> </ul>
LNG小規模基地設備指針	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術調査を実施の上、金属製よりも軽量・操作性に優れた新技術「樹脂フィルム積層ホース」に関する事項を追記。</li> </ul>

### ※ 製造設備の建設・維持管理に関するJGA指針

- ・ LNG地下式貯槽指針
- ・ LNG地上式貯槽指針
- ・ LPG貯槽指針
- ・ LNG受入基地設備指針
- ・ LNG小規模基地設備指針
- ・ 製造所保安設備設置指針
- ・ 製造設備等耐震設計指針
- ・ 容器・配管の腐食及び疲労割れに関する検査・評価・補修指針
- ・ 球形ガスホルダー指針

(参考) 2024年度に発行した、供給設備の建設・維持管理に関するJGA指針  
 ・ 供給管・内管指針（維持管理編）

## 2. 供給段階のアクションプラン –他工事事故対策–

### アクションプラン

#### 共通対策

他省庁と連携した啓発活動の強化（法令に基づく届出等を通じた啓発活動）

ガス管照会サイトによる事前照会の促進

新たな人身事故事例にもとづく、より効果的な取り組みの検討

他インフラ事業者等との連携

#### 需要家敷地内対策

動画等のツールを活用した他工事業者、建物管理者等への周知活動の拡大

#### 道路対策

動画等のツールを活用した作業員レベルへの周知・教育の徹底

### 主な取り組み状況

- 周知チラシ、動画、ガス管照会サイト等の各種ツールを活用し、他工事事業者・業界団体等への注意喚起を実施。
- ⇒ 2024年度は、事業者ごとの他工事損傷防止に資する取り組みや好事例（ガス管標示、的確な情報提供の徹底など）を取りまとめ「**他工事事故損傷防止対策取り組み事例集**」を作成。
- ⇒ ① **他設備と輻輳する露出部管体への標示**、② **露出部末端への標示**、③ **視認性の高い埋設部標示**など、様々な事例を掲載し、水平展開を実施。



▲ 露出部管体・末端への標示



▲ 視認性の高い埋設部標示

# 2. 供給段階のアクションプラン – 自社工事事故対策 –

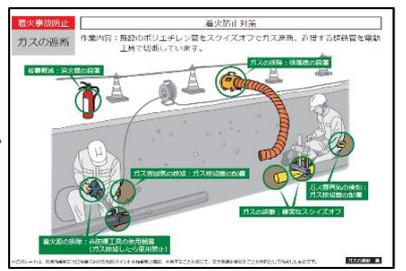
アクションプラン	
<b>自社工事事故対策</b>	
自社工事に係る教育の徹底	
ノウハウ集等の作成による自社工事に係るベストプラクティスの共有	
着火リスクを考慮した動画等による作業教育の徹底	
人身事故防止のための遵守事項徹底状況の確認	
事故防止支援ツールの体系的な整理と有効なツールの活用・定着	
新たな人身事故事例にもとづく、より効果的な取り組みの検討	

## 主な取り組み状況

- 自社工事事故防止のために各種教育ツールの作成、事業者への周知を実施。各事業者の活用促進のために、教育ツールの検索システムを導入。
- ⇒ 2024年度は、小口径ガス管の遮断工法の例示と、現場状況に応じた**最適な遮断工法の選択と適用の推進**に加え、事故を風化させない教育ツールの充実化を図り、周知・展開を実施。

◎ 事故防止関連資料をお探しの方は 検索 の見出しのチェック項目よりキーワードをお選びください。

活用機会	<input type="checkbox"/> 保安教育	<input type="checkbox"/> 新人教育	<input type="checkbox"/> TBM等のミーティング	<input type="checkbox"/> KYT
	<input type="checkbox"/> 冊子	<input type="checkbox"/> 動画		
作業ポイント	<input type="checkbox"/> 工事計画	<input type="checkbox"/> 穿孔	<input type="checkbox"/> ガス遮断	<input type="checkbox"/> 切断
	<input type="checkbox"/> パージ (置換)	<input type="checkbox"/> 撤去	<input type="checkbox"/> 舗装切・掘削	<input type="checkbox"/> 埋戻
事故種別	<input type="checkbox"/> 着火・爆発	<input type="checkbox"/> 酸欠	<input type="checkbox"/> 供給支障	<input type="checkbox"/> 交通困難
	<input type="checkbox"/> 労災	<input type="checkbox"/> 他埋設物破損	<input type="checkbox"/> ガス漏洩	<input type="checkbox"/> 避難
			<input type="checkbox"/> 死傷	



### ▲ 教育ツールの検索システム

供内管指針(工事編) 参考資料 ※追記内容イメージ

改訂案						
一般的に用いられている遮断工法例 (イメージ)				具体的な遮断工法例 (イメージ)		
付表 X-1 一般的に用いられている遮断工法例 (小口径)						
遮断工法	管種	呼び径	サービスチー	ガスプラグ	スクイズカッター	設置適合方式
鋼管	25		適用あり	適用あり		
	32		適用あり	適用あり		
	40		適用あり	適用あり		
	50		適用あり	適用あり		
PE管	25		適用あり	適用あり		
	32		適用あり	適用あり		
	50		適用あり	適用あり		

(1) サービスチー、バルブチーによる工法

既設の小口径灯外内管の地境部付近に設置されており、内蔵プラグを操作することでガスを遮断するもの

(2) スクイズカッターによる工法

活管状態である埋設鋼管からの取出し又は撤去を行う際、鋼管を圧縮切断し、切断部分でガスを遮断するもの

### ◀ 現場に応じた最適な遮断工法の早見表

## 2. 供給段階のアクションプラン – 経年管対策 –

### アクションプラン

#### 本支管対策

(要対策ねずみ鑄鉄管) 個別事情により残存する路線に対し、優先順位付けに基づいた対策計画を策定し、対策を推進

(維持管理ねずみ鑄鉄管) 対策実施に係る優先順位付けを行い、2025年度までに完了する計画で対策を進める

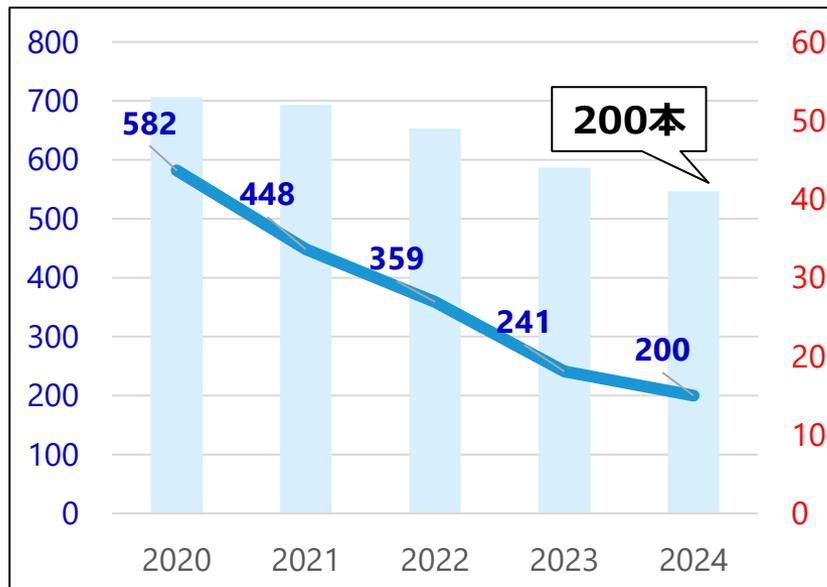
#### 灯外内管対策

(保安上重要な建物) 「供内管腐食対策ガイドライン」の活用等による対策の推進

(保安上重要な建物以外) 業務機会を捉えた周知等による対策の推進

### 主な取り組み状況

- **本支管** ねずみ鑄鉄管について、リスクマネジメント体制を構築し、対策の是正及び改善を継続的に実行しつつ対策を推進。  
⇒ **維持管理導管**については、2025年度までに完了する計画で対策を進める。2024年度末時点の**残存量**は、**117km**。
- **灯外内管** 経年埋設内管について、需要家への地道な折衝で理解を得ながら対策を推進。  
⇒ **準公的施設**については、2030年度の完了を目指し対策を推進。2024年度末時点の**残存量**は、**200本**。



◀ 経年埋設内管の残存状況 (準公的施設)

折れ線グラフ：本数(左軸)  
棒グラフ：事業者数(右軸)

<出典：日本ガス協会調査>

### 3. 消費段階のアクションプラン – 機器・設備対策 –

#### アクションプラン

##### 安全型機器・設備の 更なる普及拡大

警報器の普及

##### 業務用機器・設備の 安全性向上

立ち消え安全装置搭載  
業務用厨房機器の  
普及

#### 主な取り組み状況

- **警報器** 警報器の普及拡大を図るために、啓発チラシ等をガス事業者に提供。

⇒ 2024年度末時点の**都市ガス警報器の普及率**※は、**33.9%**。

※ 総取付数/屋内にガス機器を所有するお客さま調定戸数（屋内外を判定できない場合は分母を“ガス使用中のお客さま件数”） <出典：日本ガス協会調査>

**1** 24時間安心を見守る、**警報器の設置・交換を!**

万が一、ガスもれや、有害な一酸化炭素が発生したら、ランプと警報音で教えてくれます。  
火災を教えてくれるものもあります。  
交換期間は5年なので、期限がすぎる前に交換しましょう。

(ガス警報器工業会)

◀「ガスと暮らしの安心」運動  
チラシ（抜粋）

安心して都市ガスをご利用いただくために、**ガス警報器の設置をおすすめします。**

ガス警報器を設置することで、ガス漏れや一酸化炭素の発生を早期発見し、火災や中毒の発生を未然に防ぎます。

※ガス警報器は、ガス漏れや一酸化炭素の発生を感知し、音やランプで知らせます。

※ガス警報器は、ガス漏れや一酸化炭素の発生を感知し、音やランプで知らせます。

※ガス警報器は、ガス漏れや一酸化炭素の発生を感知し、音やランプで知らせます。

◀**ガス警報器工業会**  
制作の啓発チラシ

- **業務用機器** ガス事業者と業務用厨房機器メーカー、日本ガス協会が立ち消え安全装置を搭載する業務用ガスコンロに関する共同研究を開始し、これまで立ち消え安全装置搭載の業務用厨房機器を20機種を商品化。



株式会社フジマック



リンナイ株式会社



タニコー株式会社



株式会社コメットカトウ



株式会社マルゼン

### 3. 消費段階のアクションプラン – 周知・啓発 –

#### アクションプラン

##### 家庭用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発

非安全型機器・経年設備の取替のすすめ

機器使用時の換気励行のお願い

##### 業務用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発

消費機器・給排気設備のメンテナンスのお願い

換気の励行のお願い

警報器の設置のすすめ、警報器作動時の対応

#### 主な取り組み状況

- **家庭用** 「ガスと暮らしの安心」運動を通じて、家庭用需要家に対する非安全型機器・経年設備の取替促進、機器使用時の換気励行等を実施。  
⇒ 2024年度の「ガスと暮らしの安心」運動には、**206事業者が参加**。



◀「ガスと暮らしの安心」運動のホームページ

- **業務用** 定期保安点検等の各種業務機会を通じて、業務用需要家に対して、消費機器・給排気設備の換気やメンテナンスに関する周知・啓発や、警報器の設置のすすめ、警報器作動時の対応を依頼。  
⇒ 2024年度に**業務用厨房従業員向けのガスの安全に関する教育動画**を作成し、活用促進を実施。



◀業務用厨房従業員向けのガスの安全に関する教育動画

### 3. 消費段階のアクションプラン –その他 (自主保安の取り組み公表)–

#### アクションプラン

#### 自主保安の取り組み 公表促進

小売事業者の自主保安の取り組み公表

#### 主な取り組み状況

- 消費者がガス小売事業者を選択する際の一助とするために、各種機会をとらえ本取り組みへの参加及び自主保安の見える化を促進。
- ⇒ 2025年10月2日時点で、35事業者が経済産業省ウェブサイト公表。

#### 各社の実施項目

分類	項目
1. 保安管理体制	(1) 保安の確保に関するマネジメント
	(2) 保安管理体制の整備
	(3) 保安教育・訓練の実施等
2. 保安業務	(1) CO中毒事故防止対策 (消費機器等の不具合に起因するCO中毒事故を未然に防止するための自主保安活動の項目)
	(2) ガス漏えいによる爆発、火災事故防止策 (消費機器等の不具合に起因するガス漏えいによる爆発又は火災事故を未然に防止するための自主保安活動の項目)
3. 需要家への 安全教育・啓発	(1) 需要家への保安啓発活動

## 4. 災害対策のアクションプラン –地震対策–

### アクションプラン

#### 設備対策

低圧本支管の耐震性向上

#### 緊急対策

地震時緊急対応システムの更新と訓練の実施

#### 復旧対策

事業者間の連携強化と迅速な復旧見直し検討に向けた演習の実施

#### 共通

### 主な取り組み状況

- **設備対策** 低圧本支管の耐震性向上に向け、ポリエチレン化を推進。  
⇒ 2030年度末に耐震化率95%となるよう対策に努める。2024年度末の耐震化率は、**93.1%**。(全国平均)



◀ 低圧本支管耐震化率  
(出典)日本ガス協会アンケート)

● 実績  
■ 目標

- **復旧対策** 「災害時連携計画」に基づき、応援受入演習及びガス防災支援システム (G-React) の操作訓練を実施。

#### <応援受入演習の内容>

- ・発災から応援受入までの時系列の確認
- ・想定地震に基づく応援受入の規模および体制等の検討
- ・事前準備 (宿泊地、拠点等のリスト、書類の作成等) の状況確認・必要に応じた更新

#### <G-React画面抜粋>



## 4. 災害対策のアクションプラン – 台風・豪雨対策、災害・事故対策 –

### アクションプラン

#### 台風・豪雨対策

情報連絡訓練を通じた  
台風・豪雨対応力の  
強化

ハザードマップ活用によ  
るガス工作物の所在の  
再確認、把握

#### 災害・事故対策

臨時製造訓練の実施

### 主な取り組み状況

- **台風・豪雨対策** 台風・豪雨災害への対応力向上の取り組みを推進。  
⇒ 2024年度に更なる台風・豪雨の対応力強化を目的として、「**台風・豪雨対策ガイドライン**」を作成。

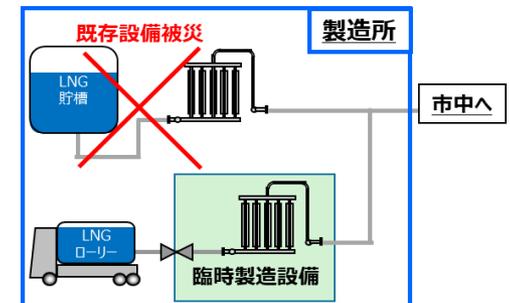
#### 「台風・豪雨対策ガイドライン」概要

項目	概要
ハード対策	対策内容例や対策の実施・検討の優先順位の考え方例 等
ソフト対策	台風・豪雨の接近に合わせた対応内容例・解説 等
参考資料	被災事業者の対応事例 等

- **災害・事故対策** 臨時製造※の事前準備の促進を目的とした臨時製造訓練を実施。
- 被災ガス事業者と提供ガス事業者をマッチングさせ、机上訓練による事前準備の確認・検討を実施。

※臨時製造について

災害（地震・水害等）により製造所等が被災した際に、早期ガス供給再開を目的として、LNG気化器の全国融通を行う仕組み。気化器以外の資機材の手配等も必要なため、事前準備が重要。



# 5. 共通項目のアクションプラン – 保安人材の育成、事故情報の活用 –

## アクションプラン

### 保安人材の育成

国家資格を基盤とした、全段階における、人材育成の維持・改善

### 需要家に対する 安全教育・啓発

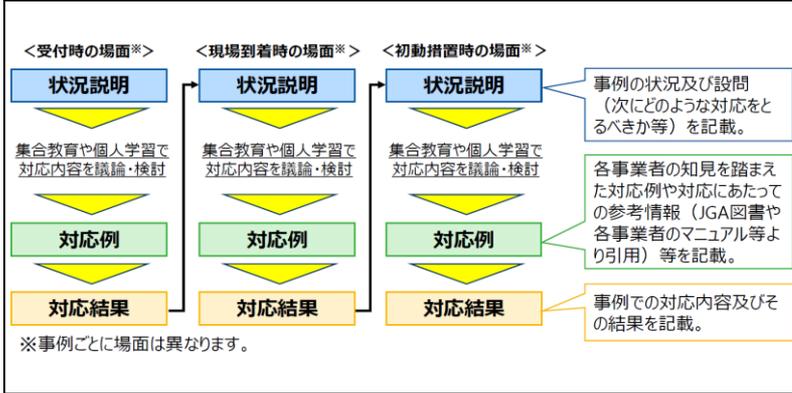
### 事故情報の活用・公開

事故分析の高度化に向けた改善

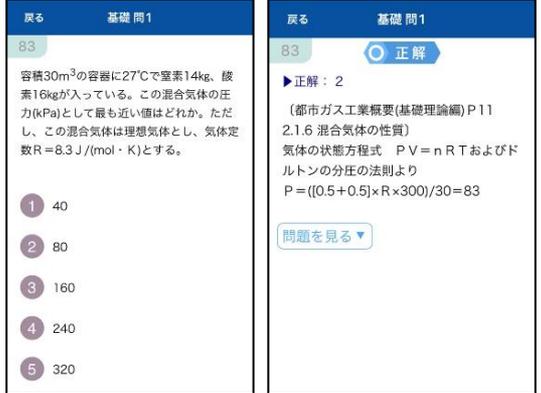
情報公開・提供の仕組みに関する絶えざる改善

## 主な取り組み状況

- **保安人材の育成** 各段階において、人材育成の取り組みを推進。  
⇒ 2024年度は、緊急保安人材の育成のために、現場での実事例を基に現場での対応内容を議論・検討する教育資料を作成。また、ガス主任技術者試験の教材（テキスト、アプリ）を作成。



**緊急保安現場教育訓練資料の構成**



**ガス主任技術者試験アプリ**

- **事故情報の活用・公開** 類似事故の再発防止のために、ガス事故の取りまとめを行い、ガス事業者等へ発信。

資料名	発行頻度	内容
ガス事故の状況	年4回	各段階の事故の傾向、及び重大事故の概要
事件事例研究情報	年1回	ガス事故の分析・検討の総括（経済産業省、ガス事業者、関係団体で構成する研究会で総括を実施）

# 5. 共通項目のアクションプラン –サイバー対策、スマート保安の活用–

アクションプラン	主な取り組み状況				
<p><b>水素インフラの動向把握</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>サイバーセキュリティ対策</b> サイバーセキュリティに関する教育・訓練を実施。</li> </ul>				
<p><b>サイバーセキュリティ対策</b></p>	<p style="text-align: center;">日本ガス協会で実施した教育・訓練</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">情報連絡訓練（JGA主催）</td> <td style="width: 50%;">CSSCサイバーセキュリティ演習（JGA主催）</td> </tr> <tr> <td>分野横断的演習（NISC主催）</td> <td>セプター訓練（NISC主催）</td> </tr> </table>	情報連絡訓練（JGA主催）	CSSCサイバーセキュリティ演習（JGA主催）	分野横断的演習（NISC主催）	セプター訓練（NISC主催）
情報連絡訓練（JGA主催）	CSSCサイバーセキュリティ演習（JGA主催）				
分野横断的演習（NISC主催）	セプター訓練（NISC主催）				
<p>製造・供給に係る監視・制御系システムのサイバーセキュリティ教育・訓練の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>スマート保安の活用</b> スマート保安の活用に向けた、取り組みを推進。</li> <li>⇒ 2024年度より、技術普及イベントにて、スマート保安技術に関する<b>メーカー・ベンダー企業とガス事業者の接点を創出するマッチング支援</b>を実施。</li> <li>⇒ スマートメーター※について、<b>大手NW3社では、供給エリア全域への導入に向けて取替を開始済み</b>。大手NW3社以外の一部の事業者でも、トライアル等の実証に取り組み始めている。</li> </ul> <p>※2024年度末時点でセンターシステムと通信ネットワークを介して接続した通信可能なメーター約320万台。うち、高度な保安機能等を有する台数約270万台（低圧16号以下。全都市ガス需要家約3,100万戸中の8.7%）</p>				
<p><b>スマート保安の活用</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="531 1013 917 1299"> <p>ポスター展示</p>  </div> <div data-bbox="927 1013 1342 1299"> <p>マッチングブース</p>  </div> </div> <p>◀ <b>日本ガス協会「技術普及セミナー」の様子</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ベンダーと事業者の意見交換機会の創出</p> </div>				
<p>スマート保安官民協議会で定めたスマート保安アクションプランの推進</p>					

以上